

# NPO法人 非正規労働相談センターひろしま 通信

第 1 2 号 2021年 1 月 18 日

〒732-0057 広島市東区二葉の里1-3-16 吉村ビル2階

フリーダイヤル **0120-501-581**

☎ 082-262-3751 FAX 082-264-2310  
Eメール [roso34@ybb.ne.jp](mailto:roso34@ybb.ne.jp)

## コロナウィルスがあぶり出す 排外主義、差別主義を乗り越える新しい年を！



### 2021年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。今年もNPO非正規労働相談センターとして頑張って活動していくつもりです。

コロナウィルス感染拡大が進む社会下では、経済活動が打撃を受け、明らかに貧富の格差が拡大し、とりわけ非正規雇用労働者、外国人労働者に解雇や雇止め、賃金切り下げ、休業要請、シフト変更などといった困窮状況を引き起こしています。正社員にも希望退職、退職勧奨が増大しています。弱者が困窮する一方で、株価は上昇し、バブル期以降、最高値を更新しています。資産のある者はますます富み、労働者階級の相対的、絶対的貧困化がすすんでいます。

### 2020年を振り返って

2020年は、コロナウィルスの感染拡大に明け暮れた年でした。コロナウィルスの感染拡大は、日本社会の抱えているさまざまな矛盾点を明らかにしました。技術大国、科学立国と言われた日本で、

マスクの在庫が消え、消毒用アルコールの奪い合いが起こるなど、誰が予測したのでしょうか？医療体制の不備、保健所の人員不足、対応能力の無さなども暴露されました。これらは、新自由主義の下で、「生産性向上、効率化」が謳われ、推し進められてきた合理化・人員削減のもたらした結果です。また、感染患者情報を手書きのFAXで送信する役所のアナログさ、「特別給付金」支給に関わる混乱を見ても分かるように、先進的と言われたコンピュータシステム、IT産業は虚構でした。

際だったのは、日本政府、安倍・菅政権の無能性、危機管理能力の欠如でした。危機管理能力の無さは、まさに目を覆うばかりでした。世間の笑いものとなった

**ホームページは  
「NPO 非正規 ひろしま」  
で検索！**

「アベノマスク」、小・中・高校の一斉休校、PCR検査の不徹底、緊急事態宣言下の右往左往等、挙げればキリがありません。こんな政府に国民の命を預けることはできないと痛感させられたものです。

## 決定的問題は、コロナ対策における戦略性の欠如である

国民の命と生活を絶対を守るという戦略的視座の確立が必要です。都市封鎖などはできないまでも、緊急事態宣言下での移動の制限、飲食業、観光業への休業要請、医療体制の充実、発熱外来の設置、徹底したPCR検査、無症状患者を含めての隔離、それに見合った全面的な経済的補償等が必要です。人の移動によってウイルスが拡散することは明確になっているのだから、それを防げばいいだけです。

経済補償、財源の確保はそう難しいことではありません。臨時に国債を発行してコロナ対策費を確保し、数年かけて法人税の税率を上げ、富裕税などを創設し、累進課税の強化を計るなどして取り返せばいいことです。大独占企業には内部留保だけでも460兆円を超える資産があります。だが、こうした政策の実現は、現在の自民党・菅政権ではできません。なぜならば、彼らは大独占企業、金融資本の代弁者であり、それらの利害に反する政策を打ち出すことはできないからです。今の自民・公明による政権を覆さ

なければ、コロナ対策もできないことを肝に銘じる必要があります。コロナ対策の徹底と自民党・菅政権打倒とは分かちがたく結びついています。

## コロナ感染症の拡大の中にある今こそ、新たな思想、文化をつかみ取ろう！

いまの社会には命を懸けて活動を続ける医療従事者を始め、社会的インフラを支える数多くの労働者がいます。そうした労働者に対するリスペクト、感謝の想いを形にし、支えていかねばなりません。医療従事者の子どもたちが排斥され、差別されるようなことがあってはならないでしょう。それは真逆の思想であることに、同じ労働者ならば気づくべきです。どんなに気をつけてもウイルスに感染することはあり得るのであり、その時に医療従事者が「自分の命が大事」と言って、患者を救う使命を忘れ、自己犠牲を放棄したらどうなるでしょうか。

コロナウイルスとの闘いには、排外主義、差別主義、ヘイトといった思想との闘争が内包されています。自分さえ良ければいいといったエゴイズム、その裏返しとしての自己責任論、これらはすべて打破すべき対象です。コロナウイルスの感染拡大がもたらした社会的危機を乗り越えられるのは、労働者の階級意識に支えられた階級的団結、連帯しかありません。

(理事長 土屋信三)



## 最近の相談事例から ～ ベトナム人技能実習生の実態

### 第一機工 ベトナム人技能実習生

ベトナム人技能実習生Aさん、男性、建築とび職。2020年1月来日したが、日本語ができないという理由で、実習当初より社長による暴言、暴行にあい苦しんだ。書けない日本語があると、仕事が終わってから、6時間かけてA4用紙で10枚も書かされた。10枚書けなかったら、次の日仕事をさせてもらえず、手取り給料3～4万



解雇され収入の無いAさんを囲んで

円という月があった。「てめえなんかいらん。失踪せえ」などの暴言を怒鳴り上げられ、時には頭をたたかれ、胸ぐらをつかまれ、首を締め上げられた。

昨年12月21日、団体交渉を行った。代理人弁護士を立て社長は団交に出てきた。指導の一貫であり、暴行とは違うという主張だったが、Aさんが録音していた暴言の音声を聞かせると、弁護士の顔色が一変した。次回団交で、未払い賃金の回答を受ける予定になっている。請求額は約97万円になる。Aさんは、現在自

己都合退職扱いで、失業給付も受けられず、当然仕事もなく、全くの無収入の状態に置かれている。監理団体は生活保障すべきところを住宅を与えるだけで済ませようとしている。ひとり人間が、住むところだけで生きていくことはできない。こんな非道な人権を無視したことが横行していることを許すわけにはいかない。スクラムユニオンとして、カンパを募りながら、支援していかねばならない。食べることもできない状況を見殺しにはできない。

## 重井興業 逃げ回る重井社長



重井社長は、ベトナム人実習生Tさんに対して、会長である自分の父親をそそのかして、暴行を加えさせた。Tさんは当然にもこんな会社で働くことはできないと退社した。すると自己都合での退社だと居直り、離職票も「自己都合」として、失業給付の受給も3か月待機とさせた。

スクラムユニオンからの団交要求に対しては、凶々しくもコロナウイルスの感染

を理由に文書でやり取りすることを要求し、実質的な団交拒否を行ってきた。では、文書で回答してくるのかと思えば、その後はなしのつぶてである。再度の団交要求も無視してきた。団交拒否を許すことはない。団交拒否の代償がどれほど大きいものか、骨身に染みて思い知らせるつもりである。

## NPO非正規労働相談センターひろしま第3回理事会開催

NPO非正規労働相談センターひろしま(以下NPOという)は、「非正規雇用労働者の権利を守り、社会的地位の向上を目指す」ことを理念に2015年に設立され、結成5年を迎えました。NPOは昨年11月8日に、2020年度の第3回理事会を開催しました。理事会では、冒頭土屋理事長から以下の経過報告がありました。①5月24日に新型コロナウイルス感染拡大の折、理事等の少人数のみの参加で、当法人事務所においてNPO第5回通常総会を開催した、②今年度は、非正規労働に関するQ&Aを掲載したリーフレットの市民への配布などの宣伝活動は、コロナ禍のもとで控えざるを得なかった、③主な事業として3回にわたる新型コロナウイルス対策・労働相談ホットラインをスクラムユニオン・ひろしまとともに開催し、延べ38件のコロナ関係の相談があった、④NPO通信を2号発行した。

続いて、村中理事から、①2020年度上半期の財政状況と②理事会開催時点での正会員、サポーター会員の会費納入状況が報告されました。

その後、土屋理事長から、今後の活動方針として、コミュニティ・ユニオン全国ネットワーク(CUNN)の呼びかけに応じて、「あらゆる非正規差別を許さない!」労働相談ホットラインをスクラムユニオン・ひろしまと共催で、2020年12月12日と13日の両日開催することを確認しました。

最後に、2021年のNPO第6回総会は、5月23日ないし30日に開催することを確認して理事会は終了しました。

今後、コロナによる企業の業績悪化を理由として、非正規雇用労働者を対象とした解雇・雇止めさらなる拡大が予想されます。そうしたなかでNPOは、非正規雇用労働者の相談を受け、彼らの労働条件を改善していけることのできる機関として、今後ますます非正規労働者のよりどころの場になれるよう活動を強化していきます。

「NPO法人非正規労働相談センターひろしま」の理事長、土屋信三は協力関係にある「スクラムユニオンひろしま」の委員長でもあります。そのスクラムユニオンから支援金募集の協力要請がありました。



## 外国人労働者支援募金ご協力のお願い

賃金未払いや暴力に苦しむ外国人技能実習生や、解雇・休業中の非正規の外国人労働者などの相談が、「スクラムユニオン・ひろしま」に寄せられています。

コロナ禍では、さらに多くの外国人の方が逼迫した状況にあります。随時、食料支援や緊急支援を行うため、活動の継続、および支援の拡大のために、皆様のご協力を必要としています。一口 1000 円からご支援いただきたいと思います。2021 年が全ての人にとって、良い年でありますように！



振込先： 郵便振替 01310-1-65053  
もみじ銀行三篠支店 普通 1820186  
口座名義 スクラムユニオン・ひろしま

連絡先： 広島市東区二葉の里 1-3-16  
TEL: 082-264-2310  
Email: scrum\_34@ybb.ne.jp

私が土屋です。  
お願いします！



スクラムユニオン・ひろしま委員長 土屋信三

協賛：反貧困ネットワークひろしま・外国人技能実習生を支援する会

お振込の際に、氏名、電話番号を忘れず入力していただきますよう、お願い申し上げます。

